

平成24年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品

◆最優秀賞(3作品)◆

【小学生の部】「つなげよう 僕の道から きみの道」

中村 安里 さん 9歳(千葉県 千葉市立本町小学校)

選評：「つなぐ」というキーワードはこの一年の日本のキーワードでもあった。「僕」と「きみ」という言葉が単に個人でなく、世界中の僕ときみにつながるような広がりのある標語である。

【中学生の部】「いつの日も 歩きたくなる 道がある」

鈴木 裕也 さん 14歳(神奈川県 山北町立三保中学校)

選評：「道を友だちにしている」感じがよく出ている。きっと大人になってもその道を思い出したりするのだろう。優しい感性が感じられる。

【一般の部】「一本の 道に日本の 底力」

今田 紗江 さん 44歳(徳島県 徳島市)

選評：東日本大震災から一年を経過した今年ならではの句。力強い直球のメッセージを発している。道の上に青空が見えてくる。希望が見えてくる。この標語から日本中に希望と自信が発せられることを期待する。

◎最優秀賞3作品のうち、「一本の 道に日本の 底力」を今年度の代表標語とします。

◆優秀賞(6作品)◆

【小学生の部】「ありがとう 未来へ続け この道路」

大矢 裕介 さん 12歳(新潟県 長岡市立前川小学校)

「この道で 今日も出会いが 生まれてる」

池上 流彩 さん 12歳(鳥取県 鳥取市立湖山小学校)

【中学生の部】「決めたから この道行くよ どこまでも」

山本 桃子 さん 14歳(富山県 富山市立堀川中学校)

「人と人 つなぐところに 道がある」

川野 友裕 さん 13歳(宮崎県 日向市立平岩小中学校)

【一般の部】「明日もまた 道の向こうに 待つ笑顔」

内河 裕信 さん 52歳(神奈川県 相模原市)

「うまくいく そんな風吹く 今日の道」

前田 千文 さん 42歳(石川県 加賀市)

※発表内容は応募時点